普及センターだより

ガーデニングや家庭菜園がトレンドの今、はじめたばかりの初心者の方も多いはず。そこで今回は、家庭菜園初心者でも簡単にできる秋作野菜を紹介します。

チャレンジ 家庭菜園

ブロッコリー

①栽培の環境
キャベツや白菜など同じアブラナ科の野菜を作ったあとは、ブロッコリーを作るのは1年以上休むのが良いでしょう。

②種蒔き
（7月下旬～8月上旬）
数多く作らない場合は、育苗箱にたねを6cm間隔くらいにすじまきします。軽く土をかけて、水をかけてあげます。

③間引きと移植
発芽後、密生している所は間引きします。本葉2～3枚のときに育苗用ポットに鉢上げして育苗します。育苗は夏の強い日差しを避けます。

④植えつけ
10日前に1㎡当たり堆肥2～3kg、苦土石灰150g、化成肥料150gを施し、耕しておきます。本葉6～7枚の頃、十分水をやってから根を傷めないように植え付けします。

⑤追肥と土寄せ
追肥は植え付け後20日頃に第1回目、花蕾が見え始めた頃に第2回目をおこない、そのときに株元に土を寄せてあげます。

⑥収穫
花蕾が直径10cmになったら、葉を4～5枚つけて収穫すると、その下のわき芽に花蕾ができてくるので、肥料を施して肥大させ花蕾が黄変しないうちに収穫します。

ホウレンソウ

①栽培の環境
春から夏は、日が長くなり花が咲くので秋に種をまきます。

②たねまき
（9月中旬～10月中旬）
10日前に1㎡当たり堆肥2～3kg、苦土石灰200g、化成肥料200gを施し、耕しておきます。たねは10cm×10cmで1穴3粒ずつまきます。

③収穫
草丈が26cmくらいになったら、随時抜き取り収穫します。（成育日数40～80日）

野菜科　武田雄介

問い合わせは、普及センター松尾駐在 86-4121～2へ

文芸

俳句

マンションに並ぶ小さき鯉のぼり　福田　幸子
牡丹の雨に重たく崩れけり　藤代　ゆう
鯉のぼり水田に写り泳ぎをり　土屋　栗水
初幟紙の兜にわらべ唄　福田　晴一
口達者たしなめられて端午の子　玉虫たけし
水透きて山女魚の紅斑見えにけり　戸村　静華
喜々として幟を揚げる若き父　若梅あやめ
春風やあした待たるゝ孫の声　今関　茂生
マニュキアの指先光る五月晴れ　小林　順子
京菓子と手揉み新茶の浅みどり　選者　山口　一秋

短歌

沿線の柿の若葉は燦燦（さんさん）と陽を浴みぬたりさつき真昼を　吉岡　信子
いち面に水張田と成りしこの夜を蛙鳴く声しきりするなり　永藤　滋
吊り下げて浜の女の見せくるる鰹のはだは瑠璃に輝く　秋葉　悦子
賜ひたる新茶をいれてさみどりの一碗をまづ夫（つま）に供へぬ　秋葉　とく
午後二時の私ひとりの台所とっぷり活字の世界に浸る　八角　三枝
かみ合はぬ長き議論の末席に吾は冷えたるお茶を飲みたり　宇井　ちい
眼をつむり家の中をば歩き見つ盲ひしばかりの友を思（も）ひつつ　佐瀬　初音
贈る母あるがうれしくカーネーション十本ほどを購（あがな）ひてきぬ　掛川　友代
野良犬は狙ひし鴨に逃げられて行方を呆と見上げゐるなり　鈴木　やす
重なれる欅若葉は日に透きて切り絵のごとき明暗を見す　中越美代子
下校する高校生等の高き声よろこび乗せて自転車がゆく　向後　房
十人の子を育てたる母を今施設に托すと教子は言ふ　選者　斎藤つね子